

「批判的・論理的思考力テスト（総合問題）」採点の観点

問2

課題文の文脈に対応した、十分に根拠のある推測ができる。

問3

互いに関連する3つの解答を課題文から読み取ることができる。

問4

- ① 資料・データから有益な情報を引き出すことができる。
- ② 獲得した情報を批判的に理解し、的確な推論ができる。
- ③ 推論を論理的に展開し、自分の結論を導くことができる。

問5

- 1) データや理由がハーグ条約に直接結びつく場合、あるいは問題をある程度一般化している場合：
ハーグ条約加盟の是非を考察するのに参考となるデータを挙げており、そのデータが必要とされる理由も妥当である。
- 2) 離婚や裁判等を考えるためのデータや理由を挙げている場合、あるいは理由が一般化されていない場合：
 - ① ハーグ条約の内容、あるいは「連れ去り」問題に関して情報を補充する必要性を理解している。
 - ② 締結国と日本を含む未締結国との比較という視点を持っている。
 - ③ 締結国と未締結国の間にある離婚、親権、面会権をめぐる考え方の違いや関連する法律の違いについて理解している。
 - ④ 締結国と未締結国の間の文化の違いにまで視野を広げて考えることができる。